

# 「安倍政権は民意に従え」

## 若者続々「行動したい」

29日、国会開会日の行動には、「何か行動したい」と多くの若者も参加しました。

横浜から姉妹で参加した下村果南(かな)さん(18)は「解散改憲を強硬な態度で押し通すなど、安倍政権は暴走していると思う。不安です」と語ります。「最近やっている学生のデモを見て、行動するのモチベーションは変わりました。暴走に反対の声を上げ政権を倒したい」と東京目黒区に住む、システムエンジニアのシズメ(シズ)さん(29)は、休日を取って行動に参加しました。国民の声を聞かない安倍政権に対して、何か行動したいと、何かが行動したいと、思っています。

集団的自衛権の行使容認は絶対に許せないと、消費税増税や沖縄新基地建設に反対です。この政権がいつまで社会は壊れます。一日も早くやめてほしい」と話しました。



要求を唱和する国会包囲共同行動の参加者=29日、国会図書館前

「福島原発事故から、社会に関心を持つようになった」と話すのは、埼玉県所沢市から参加した出版業界で働く男性(34)です。「集団的自衛権について多くの若者や国民が反対したから、安倍政権は国会での法案審議を来年にすらしめ、もう一度大きくして『閣議決定』を撤回させるまで追いつめたい」

杉並区から訪れた、自営業の男性(28)が一番反対したいものは「戦争にいかされた祖父の話を聞いてから、戦争はいけなく、最近の政治が戦前と近く怖いと思うようになった」と語りました。

「地域から共同広げる」

大運動実行委など集結

主催者あいさつで全労連の小田川義和議長は「安倍政権は国会閉会中、集団的自衛権行使容認の閣議決定や、沖縄・辺野古の新基地建設工事を押し付けた。集団的自衛権の本格議論は来年で、行動して、経団連を下火にさせず年を越したい」と話します。

たまたま通りかかった、大学生の吉村はるかさん(23)は「こういう行動を実際見たのは初めてです」と驚いた様子です。「政治には詳しくないけど、安倍首相は支持できません。たかさんの人が反対していた秘密保護法を議論もなく急いで決めたり、消費税は8%でも高いのに、来年10%になるなんて嫌です」と語りました。



「安倍政権の暴走を止めよう」と国会を包囲する人たち=29日、参議院議員会館前

国民大運動実行委員や中央社保協、憲法共同センターなどは29日、参議院議員会館前で国会図書館前で国会包囲行動をおこないました。

志位委員長ら参加

29日、国会周辺や参議院議員会館で終日おこなわれた諸団体の行動には、日本共産党から志位和夫委員長(衆院議員)、山下若生書記局長(参院議員)のほか、多数の国会議員が参加しました。菅井英、宮本岳志の各衆院議員、井上哲士、紙智子、田村智子、仁比聡平、倉林明子、吉良よし子、辰巳孝太郎の各参院議員。

「尊い命の犠牲のもとにできた憲法を守らなければならぬ。福井県民主医療機関連合会事務局の綿織龍彦さんは「原発ゼロになるまで運動を続けよう」と励まし合っている。

自治労連の猿橋均委員長代行は「国会周辺の行動はもちろんだが、地域から政治を変える共同を盛りこんでいく決意だ」と語りました。

日本共産党の紙智子、吉良よし子、田村智子の各参院議員がいささしました。

衆院第1議員会館で開かれた集会には12

0人が参加。三学連で、自由法曹団事務局次長の横山雅舟護士は、安倍政権の改憲戦略について「日本国憲法が国民主権に基づく以上、国家権力が勝手に基本原則を変えることは許されない」と解散改憲を批判しました。

当面の行動として、▽宣伝対話を強め、暴走政治の正体を明らかにする▽臨時国会期間中の国会行動を成功させる▽11月29日の大集

と解せると、大行動を成功させ、安倍政権を退陣に追い込むことなどが提起されました。

日本共産党の井上哲士参院議員がいささ

# 「暴走止めよう」声響く

臨時国会が開会した29日、「安倍政権の暴走を止めよう！ 国会包囲共同行動」（主催、同実行委員会）が取り组まれました。参加者2000人（主催者発表）の手には、「戦争する国づくり」をはじめ、安倍政権の悪政への怒りをこめたプラカード。全員が手をつないで人間の鎖となり、「安倍はやめろ！」「暴走やめろ！」のコールで国会議事堂を取り囲みました。安倍内閣が、集団的自衛権の行使を容認する「閣議決定」を強行してから初の

## 2000人が国会包囲行動

国会となります。東京都町田市の三枝晶子さん（46）は「9」をかたどったプラカードを掲げ、憲法9条の改悪に反対する意思を表明。「戦争することばかり考えている安倍首相をやめさせて安心して暮らしたい」と拳を突き上げました。葛飾区の大学生、柴崎花苗さん（20）は、インターネットを見て抗議行動に初めて参加。「消費税増税や、労働法制の改悪を目的としたりして将来が不安になりました。安倍政権への反対をアピールして政治を

変えたい」と語りました。衆院第2議員会館前で日本共産党の山下芳生書記局長は、安倍内閣が、集団的自衛権の行使容認、消費税大増税、原発推進、米軍新基地建設などあらゆる問題で、国民の願いに逆行する戦後最悪の内閣だと批判。「追いつめられているのは安倍政権だ。各分野の一点共闘を広げに広げ、安倍政権打倒の運動に大合流しよう」と呼びかけました。

この日は終日、集会や首相官邸前行動などが取り組まれました。